

# 北陸新幹線の整備促進に関する決議

北陸新幹線は、完全な複軸型国土を形成し、大規模災害時において東海道新幹線の代替機能を果たす重要な国家プロジェクトである。本年2月の大雪の際にも運転を続け、雪害にも強く、国土強靱化に資することが証明された。

1日も早い県内開業および大阪までの早期全線開業は、本県の産業や観光の振興につながるだけでなく、東京一極集中を是正し、地方創生、経済再生に大きく寄与するものである。

ついては、政府・与党において、北陸新幹線の整備促進について次の事項を実現するよう強く求める。

## 記

- 1 金沢・敦賀間の2022年度末までの開業を確実に実現するよう整備を促進するとともに、早期開業に最大限努力すること
- 1 敦賀・大阪間の駅・ルートの詳細調査を速やかに進め、早期に環境アセスメントに着手すること
- 1 建設財源確保の見通しを早期につけ、敦賀開業から切れ目なく着工し、北海道新幹線札幌開業（2030年度末）より早い大阪までのフル規格による全線開業を実現すること
- 1 フリーゲージトレインが導入されないことにより、全線開業までの間、敦賀駅において新幹線と特急との乗換えが生じることから、敦賀駅発着のすべての新幹線と乗り継げる特急の確保等により、利用者の利便性確保を図ること

以上、決議する。

平成30年9月15日

福井県北陸新幹線建設促進同盟会